

第5回錯覚ワークショップ

2012年9月18日(火), 19日(水)

明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 1125講義室^(18日), 1145講義室^(19日)

(JR御茶ノ水駅から徒歩5分 http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide)

入場無料

9月18日(火) (1125講義室, リバティタワー12階)

12:55-13:00 開会のあいさつ

13:00-14:00 「錯覚を利用した五感インタフェース」

鳴海拓志(東京大学大学院知能機械情報学専攻)

14:00-15:00 「食における錯覚 — 錯視・多感覚知覚・消費者認知 —」

和田有史(食品総合研究所食認知科学ユニット)

(15:00-15:30 休憩)

15:30-16:30 「ホームセンターの最適棚配置問題

— 商品の陳列方法によって売り上げは変わるか」

鈴木敦夫(南山大学情報理工学部)

16:30-17:30 「CGによる形の錯視・色の錯視」

高橋時市郎、中津香奈(東京電機大学)、杉田純一(東京医療保健大学)

食品

陳列方法

コンピューター
グラフィックス

から

疼痛治療

アート

動く錯視

まで

9月19日(水) (1145講義室, リバティタワー14階)

10:00-11:00 「視覚情報を利用した難治性疼痛の治療」

住谷昌彦(東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター)

11:00-11:40 「Footstep Illusionを利用した錯視アートの試み

〜数理モデルによる錯視制御〜

小野隼(明治大学大学院先端数理科学研究科)

(昼休み)

13:00-14:00 「動く錯視の計算視覚モデル」

守田了(山口大学大学院理工学研究科)

14:00-15:00 「最適化型フレイザー・ウィルコックス錯視・タイプVを揺らすことによる増強」

谷中一寿(神奈川工科大学)

(15:00-15:30 休憩)

15:30-16:30 「錯視の楽しみ方〜みつける、つくる、みる。」

高橋康介(東京大学先端科学技術研究センター)

16:30-17:30 「錯視は「間違い」なのか? 「ある意味正しい」のか?」

佐藤俊治(電気通信大学大学院)

主催: 明治大学先端数理科学インスティテュート 錯覚と数理の融合研究拠点

JST, CREST「数学」領域「計算錯覚学の構築」

共催: 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数理学の形成と発展」

問合せ先: JST, CREST「計算錯覚学の構築」代表杉原厚吉 kokichis@isc.meiji.ac.jp